

セカイ

発行 古平中学校

No.6

令和7年9月25日

TEL 42-2557

FAX 42-2558



【学校教育目標】

- ・自ら考え、正しい判断をする生徒を育てる
- ・温かな心を持ち、誰をも思いやる生徒を育てる
- ・自分に厳しく、お互いに助け合う生徒を育てる
- ・しなやかで、健康な体をもつ生徒を育てる

かけがえのない命を守るために
～「SOSを出す力」を育てる～

校長 津田和翁

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

先日、本校では「SOSを出す力を育てる」ことを目的とした全校授業に取り組みました。事後の振り返りから、生徒たちからも有意義な時間だったとの前向きな声がみられました。

近年、子どもたちの抱える悩みや不安は、私たち大人が想像する以上に多様で、また深刻化する傾向にあります。だからこそ、自分の命を大切にし、困ったときには信頼できる大人や友人に助けを求める、その「SOSを出す力」を身につけることが非常に大切だと考えています。

子どもたちは時に、「こんなことくらいで悩む自分は弱いんじゃないか」「誰にも話せない」「迷惑をかけたくない」といった気持ちを抱え、一人で抱え込んでしまうことがあります。ですが、誰かに話すこと、助けを求めることは決して恥ずかしいことではなく、むしろ自分を大切にする第一歩であるということを、学校でも繰り返し伝えています。

同時に、友達の様子に少しでも「いつもと違う」サインがあれば、そっと声をかけたり、話を聞こうとしたりする姿勢も大切です。うまく声をかけられなくても、「気にかけてくれる人がいる」という事実が、心を救うことにつながります。

私たちは、子どもたち一人ひとりの命が何よりも大切であるという思いをもって、日々向き合っています。そして、この取り組みを学校だけで完結させるのではなく、ご家庭とも連携しながら進めていきたいと願っています。

ご家庭におかれましても、お子さまの小さな変化に目を向け、気になることがあれば、遠慮なく学校へご相談ください。時には何気ない会話の中で、子どもたちは心の内をそっとのぞかせることがあります。どうか、日々の声かけや見守りの中で、「どんな時も、あなたの味方だよ」というメッセージが伝わるような関わりをお願いできればと思います。

学校と家庭が力を合わせ、子どもたちが安心して学び、悩みを話せる環境を共につくってまいりましょう。今後ともよろしくお願いいたします。



新しい古中の代表決定!～後期生徒会役員選挙

9月10日(水)の6時間目に、古平中学校で後期生徒会役員を選出するための「立会演説会」が行われました。各立候補者は、よりよい古平中学校を目指して自らの公約を考え、全校生徒に向けて自分の言葉で熱い思いを伝えていました。

後期副会長に当選した〇〇〇〇さんは、「今の3年生のように学校を引っ張ることを頑張りたい」「当選したら、あいさつ運動や全校朝会の運営を頑張りたい」と立候補した理由と抱負を語っていました。

3年生のみなさんが、これまで作り上げてきた、古平中の「伝統」や「取組」は、学校にとって大切な宝物です。それを引き継いで、さらに素敵な学校にしていくのは、1・2年生のみなさんです。今回選ばれた4名の新生徒会役員には、その中心となって活躍してほしいと願っています。

会 長 〇〇〇〇 さん(2年)
書 記 〇〇〇〇 さん(1年)

副会長 〇〇〇〇 さん(2年)
会 計 〇〇〇〇 さん(1年)



心や命を守る教育! ～SOSを出す力を育てる授業

9月11日(木)の3時間目、全校生徒を対象に「SOSを出す力を育てる授業」が行われました。この授業では、悩みや不安をひとりて抱え込まず、信頼できる人に相談することの大切さについて学びました。

授業の中では、学年縦割りの4グループに分かれ、3年生が中心となって交流を行いました。設定された状況について、自分だったらどうする、また、友達がそのような状況だったら自分はどのように関わるかを考え、グループで交流し、「伝える力」や「関わる力」を育む活動を行いました。

「困ったときは助けを求めている」「話すことで心が軽くなる」、などのメッセージを通して、生徒たちは「自分の気持ちに気づくこと」や「誰かに伝える勇気」の大切さを感じ取っていました。

生徒の感想には、「思いを伝えたり、誰かに頼ったりすることも大切だと思った」「相談したり、助け合ったりすることが大事だと思った」「人のSOSに気付けるようになりたい」など、言葉がありました。

今後も、学校全体で「話しやすい雰囲気」「相談しやすい関係づくり」を大切にしていきたいと思います。

働くことは ～3年生職場体験学習!

8月28日(木)・29日(金)の2日間、3年生が古平町と余市町の事業所において、「職場体験学習」を行いました。

生徒たちは、普段の学校生活では味わえない「働くことの大変さ」や「やりがい」を肌で感じながら、真剣に取り組んでいます。

体験先では、接客や清掃、事務作業など、業種ごとに異なる仕事を体験させていただきました。初めは緊張していた生徒も、時間が経つにつれて、積極的に声をかけたり、自分から動いたりする姿が見られました。

今回の職場体験を通して、「働くことの意味」や「社会の一員としての責任」を考えるきっかけになったようです。生徒の感想には、「ありがとうや助かったよと言われてうれしかった」「ほかの人と関わって色々なことに気が付くことができた」など、前向きな言葉がたくさんありました。

ご多用の中、ご協力いただいた事業所の皆さま、本当にありがとうございました。この経験を今後の学校生活や進路選択にしっかりと活かしていきたいと思っています。



〇〇〇〇先生、着任挨拶! ～ようこそ〇〇〇〇先生!

初めまして、〇〇〇〇と申します。私はカナダのエドモントンという都市の出身です。大学で東アジアビジネスを学び、その時から日本語の勉強を始めました。日本の文化、言語、食べ物にずっと興味を持っています。

趣味はラケットスポーツで、特にテニス、バドミントン、そしてビックルボールが大好きです。ぜひ、バドミントンをみんなとプレイしたいと思います。

古平に来られて、とてもうれしく思います。この町のことをもっと知りたいので、ぜひ気軽に声をかけて、いろいろ教えていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

